




研究紀要『静岡大学生涯学習教育研究』バックナンバー

(注) マークをクリックすると、本文をPDFで読むことができます。

第14号 2012年3月

[論文]

- 3-12 小西 潤子／学校・大学・地域を循環するグローバルな音楽のまなび：バリ・ガムランによる試み 
13-24 金子 淳／戦争観の形成と戦争展示：「熱い論争」と「冷やかな無関心」という落差をめぐって 

[研究ノート]

- 25-34 金子 淳／静岡の社会教育小史：思想・実践・政策面に関する動向を中心に 

[事業報告]



- 35-50 公開シンポジウム「学習ネットワークと生涯学習⑬」
(報告1) 工藤 陽明・鈴木 勇治／主体的に学ぶ子どもの育成を目指した「子どもの『学びの場』充実事業
について：ふじのくにゆうゆうnetと「ゆうゆうポイントラリー」の取組を例に
(報告2) 徳山 真治／社会人学び直しニーズ対応プログラムと大学eラーニングシステム
51-71 博物館フォーラム「博物館活動と学芸員資格：現場の声を聞く」
(報告1) 織田 一平／これまでのキャリアと博物館との関わりについて
(報告2) 安岡 真理／大学で学んだことを、美術館でどう生かすか

[資料]

- 73-81 2010年度生涯学習教育研究センター事業の実施報告 

第13号 2011年3月

[論文]

- 3-12 阿部 耕也・望月 雄司／公民館・生涯学習センターの利用実態とイメージ：静岡市葵生涯学習センター・アンケート調査を手がかりに 
13-27 金子 淳／公害展示という沈黙：四日市公害の記憶とその表象をめぐって 

[事業報告]

- 29-42 公開シンポジウム「学習ネットワークと生涯学習⑫」
(報告1) 田中 章義／ストリートチルドレン支援のネットワークづくり
(報告2) 熊野 善介／デジタルコンテンツやe-learningは教育にどのような改革をもたらすか、デジタル化を進めるメディアはどのように貢献できるか
(報告3) 竹内 勇剛／メディアを介したコミュニケーションにおける対人社会的側面とインタラクションデザイン
43-67 博物館フォーラム「博物館からひろがるネットワーク」
(問題提起) 高松 良幸／博物館厳冬の時代
(報告1) 金原 宏行／三・遠・信博物館の広域ネットワーク
(報告2) 太田 好治／市町村合併と広域博物館群の構築：浜松市博物館ネットワークの展望
(報告3) 小岩 信治／まちと博物館を結ぶ：「静岡文化芸術大学の室内楽演奏会」を例に

[資料]

- 69-77 2009年度生涯学習教育研究センター事業の実施報告 

第12号 2010年3月

[論文]

- 3-9 松澤 芳昭・佐藤 龍子・市川 照久／情報システム学を通じた地域人材再生のための学び直し講座の試みと

成果 

11-26 金子 淳／国立中央青年の家の成立とその政治的背景 

[事業報告]

27-45 公開シンポジウム「学習ネットワークと生涯学習①」

(報告1) 榛村 純一／生涯学習のまちづくりとネットワーク

(報告2) 西原 純／平成の大合併の新自治体の「庁舎の方式」と新地域の形成：静岡県3市を例として

(報告3) 村山 功／ICTは遠隔教育をどう変えるか：学習と共同体づくりの観点から

47-74 博物館フォーラム「文化財保護の現在と未来：静岡県内の取り組みから」

(報告1) 飯田 真／静岡県博物館協会における災害対策への取り組み

(報告2) 本多 隆成／静岡県の自治体史編纂事業の現状と課題

(報告3) 山口 聡太郎／文化財の災害ボランティア活動


(報告4) 高松 良幸／文化財の危機と大学における文化財防災への取り組み


[資料]

75-84 2008年度生涯学習教育研究センター事業の実施報告 

第11号 2009年3月

[論文]

3-18 阿部 耕也／生涯学習講座継続的受講者のニーズに関する要因分析の試み：しずおか県民カレッジ受講者へのアンケート調査を手がかりに 

19-37 金子 淳／象徴天皇制の磁場に生まれた“夢の空間”：中央児童厚生施設「こどもの国」の設立過程から 

[事業報告]

39-69 公開シンポジウム「大学と博物館を結ぶ⑩；地域とつながる博物館」

(報告1) 浜野 達也／平塚市博物館の普及活動

(報告2) 太田 好治／浜松市の広域合併と歴史系広域博物館群の形成

(報告3) 田中 之博／MOA美術館と地域・行政とのネットワークづくり

(報告4) 堀切 正人／静岡New Art「あなたの居場所」展の試み

(報告5) 田口 公則／コミュニティ・ベースの博物館活動：恐竜手づくりプロジェクトの事例から

71-90 公開シンポジウム「学習ネットワークと生涯学習⑩」

(報告1) 小池 孝則／交流型情報ネットワークシステムの構築：<ふじのくにゆうゆうnet>の事例から

(報告2) 小松 みゆき／学校・地域・NPOとの連携によるキャリア教育の実践


(報告3) 益川 弘如／学習を支えるICT技術とコミュニティ：大学での授業実践を事例に


[資料]

91-98 2007年度生涯学習教育研究センター事業の実施報告 

第10号 2008年3月

[論文]

3-20 阿部 耕也／大学と地域連携の要因分析の試み：大学と地域との連携によるまちづくり調査から 

21-39 金子 淳／交通戦争の残影：交通公園の誕生と普及をめぐる 

[事業報告]

41-63 公開シンポジウム「大学と博物館を結ぶ⑨：進化する博物館・美術館を知ろう」


(報告1) 吉田 知加／東京国立博物館の教育普及“Bridge Over Troubled Water”

(報告2) 長谷川 秀厚／登呂博物館の建替事業

(報告3) 後藤 清司／豊橋市美術博物館整備事業について

(報告4) 橋爪 節也／大阪市立近代美術館建設の経緯について

(報告5) 南 美幸／静岡県立美術館「タッチ・ツアー」


- 65-81 公開シンポジウム「学習ネットワークと生涯学習⑨」
（報告1）河井 孝仁／生涯学習のツールとしてのeコミュニティ
（報告2）益川 弘如／生涯学習に必要な学習力とは？：Web掲示板利用のグループ学習授業の事例から 
（報告3）村上 敏／「まちのお宝さがしプロジェクト」が目指すもの

[資料]

- 83-88 2006年度生涯学習教育研究センター事業の実施報告 

第9号 2006年12月

[事業報告]

- 1-67 生涯学習指導者研修事業「市民性を育む地域社会の取り組みと公民館」
（基調報告）山本 健慈／ヒトが育つまちづくり：地域共同学習のすすめ
（報告1）割田 孝充／生涯教育の視点に立った公民館運営
（報告2）池野 美弘／地域教育にかける想い
（報告3）増田 俊彦／地域ぐるみの子育てと「小さな市民」の社会参画
（報告4）坂井 英紀／蒲原町NPO講座による地域副読本づくり
- 69-112 公開シンポジウム「博物館と大学を結ぶ⑧：最近の博物館にみる展示事業など新しい試み」
（報告1）藤永 正明／大阪府立近つ飛鳥博物館の事例報告
（報告2）牧野 宏美／吉岡彌生記念館特別展事業について
（報告3）杉山 知太郎／美術館相互の連携
（報告4）水谷 栄太郎／名古屋市博物館の事例
（報告5）鈴木 康之／兵庫・岡山・広島三県合同企画展の企画と運営
- 113-143 公開シンポジウム「学習ネットワークと生涯学習⑩」
（報告1）大島 律子／情報ネットワークを活用した教育の取り組み
（報告2）佐藤 龍子／生涯学習社会とキャリア 
（報告3）剣持 里子／近代新聞テキスト化事業とは

[資料]

- 145-152 静岡大学生涯学習教育研究センター規則等
153-156 生涯学習教育研究センターの組織と運営／平成17年度生涯学習教育研究センター事業の実施報告

第8号 2005年12月

[事業報告]

- 1-51 静岡大学開学55周年記念公開講座・シンポジウム「21世紀、新しい知をめざして」
（記念講演）加藤 尚武／21世紀：地球環境・生命・人間
（報告1）晝馬 輝夫／新しい大学に期待するもの
（報告2）中田 紘二／新しい大学に期待するもの
（報告3）南 健悟／学生参加の大学づくり
（報告4）天岸 祥光／新生静岡大学の進む道
- 53-77 公開講座「政令指定都市－新生静岡市の未来」第3日目「市民が育てる文化芸術活動」
（報告1）本阿弥 清／市民がつくる現代の美術館
（報告2）都築はじめ／市民にとっての芸術文化とは：演劇の現場から
- 79-116 公開シンポジウム「大学と博物館を結ぶ⑦：最近の新しい博物館活動」
（報告1）小川 弦太／兵庫県立考古博物館（仮称）と考古学者
（報告2）森 充代／静岡県立美術館におけるリクエスト展の試み
（報告3）福井 麻純／細見美術館の活動と取り組みについて
（報告4）村瀬 正巳／楽器博物館の役割を探る

- (報告5) 佐渡友 陽一／最近の新しい博物館活動
- 117-151 公開シンポジウム「学習ネットワークと生涯学習⑦」
- (報告1) 赤堀 正宜／放送による生涯教育「市民のための市民による教育」：米国ボストンにおける市民と大学の連携
- (報告2) 原 義彦／大学と地域の連携によるまちづくり調査研究報告：生涯学習支援における大学と市町村の連携の課題
- (報告3) 山口 祐子／NPOを核とした協働学習ネットワーク：こうなったらいいなという市民の思いを社会的な力に変える試み

[資料]

- 153-159 静岡大学生涯学習教育研究センター規則等
- 160-163 生涯学習教育研究センターの組織と運営／平成16年度生涯学習教育研究センター事業の実施報告

第6・7号 合併号 2004年9月

[事業報告]

- 1-41 第25回全国国立大学生涯学習系センター研究協議会公開シンポジウム「21世紀の生涯学習と大学開放」
- (報告1) 中井 弘和／公開講座から地域貢献へ：棚田自然農法と地域再生
- (報告2) 庄司 勲／清見瀧大学塾20年、清見瀧セミナー10年のあゆみ
- (報告3) 榛村 純一／生涯学習の新たな展開：スローライフのまちづくり
- 43-89 公開シンポジウム「大学と博物館を結ぶ⑤：“学芸員、苦勞を語る”」
- (報告1) 早川 典子／東京都江戸東京博物館
- (報告2) 新田 建史／静岡県立美術館の保存環境
- (報告3) 斎藤 新／浜松市博物館のいま（私見）
- (報告4) 嶋 和彦／浜松市楽器博物館のいま
- (報告5) 佐渡友 陽一／日本平動物園
- 91-137 公開シンポジウム「大学と博物館を結ぶ⑥：博物館と大学、博物館と学生を結ぶ」
- (報告1) 守屋 雅史／博物館と大学：大阪市立美術館の場合・わたくしの考え
- (報告2) 浅野 毅／静岡市立登呂博物館
- (報告3) 小池 富雄／徳川美術館
- (報告4) 杉山 知太郎／平野美術館
- (報告5) 佐渡友 陽一／日本平動物園
- 139-187 公開シンポジウム「学習ネットワークと生涯学習⑤」
- (報告1) 鈴木 直義／“提供”システムから“交流”システムへ：静岡市が生涯学習でめざすもの
- (報告2) 宮崎 裕和／「とはなにか学舎」とはなにか？
- (報告3) 猿田 真嗣／大学公開講座を起点とした学習ネットワークの構築
- 189-228 公開シンポジウム「学習ネットワークと生涯学習⑥」
- (報告1) 赤堀 侃司／「日本人学校プロジェクト」が目指すもの
- (報告2) 越田 幸洋／学校と地域の融合教育のしくみづくり：いわゆる“石川方式”の学社融合の成果と課題
- (報告3) 大島 純／生涯学習者育成を目指す総合的な学習の時間カリキュラム


[論文]

- 229-231 阿部 耕也／韓国視察報告調査レポート：韓国における学社連携の一事例 


[資料]

- 233-239 生涯学習教育研究センターの組織と運営／平成14・15年度生涯学習教育研究センター事業の実施報告

[事業報告]

- 1-53 公開シンポジウム「多文化共生時代の地域づくりと大学」
(基調講演1) 野元 弘幸／全国各地での多文化共生地域づくり：「駅前型」から「地域型」への発展を
(基調講演2) 池上 重弘／静岡県西部地域における外国人の教育問題：取り組みの現状と課題
(報告1) 宇都宮 裕章／外国籍児童教育における静岡大学教育学部での試み 
(報告2) 三池 アリセミホ／浜松でのア・ラ・ブラジルの活動
(報告3) 宮司 恭子／日本語センターの活動
- 55-90 公開シンポジウム「大学と博物館を結ぶ④：博物館学芸員と語る」
(報告1) 中野 宥／静岡市立登呂博物館
(報告2) 山下 善也／静岡県立美術館
(報告3) 吉田 知加／東京国立博物館
(報告4) 家田 健吾／豊橋市自然史博物館
- 91-126 公開シンポジウム「学習ネットワークと生涯学習④：ターミナルとしての学校」
(報告1) 堀田 龍也／ターミナルとしての学校の可能性
(報告2) 高口 和浩／地域がつくる学校・学校がつくる地域
(報告3) 西川 徹／“学習支援ネットワークはいなん”の実践：地域センターとしての定時制高校

[論文]

- 127-139 角替 弘志・馬居 政幸・阿部 耕也／地域生涯学習システム構築における学校の役割：「総合学習」に関する教員調査と学社連携・融合実践事例を手がかりに 
- 140-147 柴垣 勇夫／博物館施設の利用と生涯学習：博物館概論履修学生の動向から

[資料]

- 149-155 静岡大学生涯学習教育研究センター規則等
- 156-157 生涯学習教育研究センターの組織と運営および専任教員／平成13年度生涯学習教育研究センター事業の実施報告

[事業報告]

- 1-34 公開シンポジウム「長寿社会をよりよく生きる」
(報告1) 星 猛／明るい長寿社会づくりと学習
(報告2) 林 のぶ／地域活動と家族力
(報告3) 石川 憲彦／こころの健康
- 35-85 公開シンポジウム「博物館と大学を結ぶ③：博物館とボランティア」
(基調講演) 神谷 浩／博物館とボランティア
(報告1) 浅田 員由／愛知県陶磁資料館
(報告2) 飯田 真／静岡県立美術館のボランティア活動
(報告3) 浅野 毅／静岡市立登呂博物館
(報告4) 佐渡友 陽一／日本平動物園
(報告5) 栗原 雅也／細江町立姫街道歴史民俗資料館
- 87-125 公開シンポジウム「学習ネットワークと生涯学習③」
(報告1) 山口 洋典／地域通貨とコミュニティ支援
(報告2) 大石 正路／自立型学習ネットワーク・清見瀧大学塾15年の実践から
(報告3) 小川 雅弘／学校移動博物館からわくわくミュージアムへ

[資料]

- 127-133 静岡大学生涯学習教育研究センター規則等

第3号 2000年3月

[事業報告]

- 1-50 静岡大学開学50周年記念公開シンポジウム「大学と地域の豊かな共生を目指して：21世紀を生きる」
(基調講演) 榛村 純一／生涯学習社会をいかにつくるか：その中における大学の役割と変革
(報告1) 星 猛／県立大学と静岡大学の学術交流
(報告2) 斎藤 諦淳／私立大学と地域社会の交流
(報告3) 角替 弘志／生涯学習と大学開放の方向
(報告4) 太田 幹晴／県教育行政と大学への期待
(報告5) 大堀 哲／大学と地域ボランティア養成
- 51-91 公開シンポジウム「21世紀の静岡大学公開講座を考える」
- 93-141 公開シンポジウム「博物館と大学を結ぶ②：博物館における教育・普及活動」
(基調講演) 水嶋 英治／拡大する博物館教育活動の範囲
(報告1) 酒井 一光／大阪市立博物館の普及事業と土曜講座「建築史探偵団」について
(報告2) 中野 宥／静岡市立登呂博物館
(報告3) 佐渡友 陽一／静岡市立日本平動物園
(報告4) 泰井 良／静岡県立美術館
- 143-173 公開シンポジウム「学習ネットワークと生涯学習②」
(報告1) 石川 准／アクセシビリティの政治
(報告2) 村山 功／協同学習・協同問題解決のためのコンピュータ支援環境
(報告3) 平田 厚／福祉文化の創造と生活者の学び合い

[資料]

- 175-181 静岡大学生涯学習教育研究センター規則等
- 182-183 生涯学習教育研究センターの組織と運営および専任教員／平成11年度生涯学習教育研究センター事業の実施報告

第2号 1999年3月

[事業報告]

- 1-52 公開シンポジウム「博物館と大学を結ぶ：博物館学芸員の仕事：現場の学芸員からの提言」
(基調講演) 伊藤 嘉章／博物館・美術館学芸員の実際
(報告1) 飯田 真／静岡県立美術館
(報告2) 中野 宥／静岡市立登呂博物館
(報告3) 西野 和豊／フェルケール博物館
(報告4) 坪井 則子／佐野美術館
(報告5) 渋谷 昌彦／島田市博物館
(報告6) 水谷 栄太郎／名古屋市博物館
- 53-83 学内講演会
晝馬 輝夫／光技術の現状と未来：21世紀の産学協同研究への提言

[論文]

- 85-89 角替 弘志／生涯学習の視点から見たPTAの役割：大学生に対するPTAに関するアンケート調査結果の分析から

[資料]

- 91-97 静岡大学生涯学習教育研究センター規則等

第1号 1998年3月


[巻頭言]

- 1 原 秀三郎／「生涯学習教育研究」の発刊にあたって

[事業報告]

- 3-56 生涯学習教育研究センター開設記念シンポジウム「大学開放と生涯学習」
(基調講演) 山本 恒夫／生涯学習社会と大学の役割
(報告1) 庄田 武／地域社会と生涯学習
(報告2) 渡辺 妙子／博物館と生涯学習
(報告3) 原 秀三郎／大学と生涯学習

[論文]

- 57-60 柴垣 勇夫／博物館施設にみる生涯学習機会
- 61-64 阿部 耕也／生涯学習ニーズへの2つのアプローチ 

[資料]

- 65-71 静岡大学生涯学習教育研究センター規則等
- 72 生涯学習教育研究センターの組織と運営および専任教官